

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目(旧カリキュラム)
検定試験 実施要項

この実施要項は、公益財団法人日本スポーツ協会(以下「JSPO」という。)公認スポーツ指導者制度に基づくアスレティックトレーナー専門科目検定試験について定めるものである。

【1. 理論試験・実技試験共通】

1. 検定試験の目的

検定試験は、理論試験と実技試験で構成され、JSPO 公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)に必要とされる知識や能力の有無を評価する。

2. 留意事項

- (1) JSPO は検定試験に関し不正行為があった場合は、その不正行為に関係のある者について、その受験を停止させ、全ての試験結果を無効とする。
- (2) JSPO は前項による処分を受けた者について、期間を定めて受験資格を取り消すことができる。
- (3) 検定試験は学校を卒業する年度より前に受験することはできないものとし、万が一受験資格を満たさない者が受験した場合、全ての試験結果は無効とする。
- (4) 旧カリキュラムに対応した検定試験は、理論試験は 2029 年度、実技試験は 2030 年度をもって終了する。よって、受験資格を満たした者でも、各試験の終了年度以降は受験資格を消失する。また、2022 年カリキュラム対応の検定試験を受験するためには、2022 年カリキュラムの講習等を修了することが必要となる。

【2】理論試験

1. 出題内容：

<基礎科目>

- ①スポーツ科学 ②運動器の解剖と機能 ③スポーツ外傷・障害の基礎知識
- ④健康管理とスポーツ医学 ⑤スポーツと栄養 ⑥アスレティックトレーナーとしての常識問題

<応用科目>

- ① アスレティックトレーナーの役割 ②検査・測定と評価 ③予防とコンディショニング
- ④アスレティックリハビリテーション ⑤救急処置 ⑥アスレティックトレーナーとしての常識問題

2. 受験資格

以下の条件をいずれも満たす者。

- ・ 旧カリキュラムに対応した JSPO-AT 専門科目の履修を完了し(講習・試験免除適応コースアスレティックトレーナーコース(以下、AT コース)の場合は受験年度末までに履修見込みの者を含む)、【共通科目Ⅲ及び JSPO-AT 専門科目講習の受講完了申請を終了(受講完了見込みの者を含む)】または【共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了証明書及び JSPO-AT 専門科目講習修了証明書を取得】している者
 - * 受講完了申請は学校の卒業と紐づかないため、AT コースに在学中の者については学校の卒業または卒業見込みであることは問わない。
- ・ JSPO が定める一次救命処置(以下、BLS)資格*の有効期限内の認定証を有する者。
【AT コースで専門科目講習を受講した者】
検定試験申込時点で有効期限内の認定証を有する者。
【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】
救急対応に関する講習会の実施時点で有効期限内の認定証を有する者。(JSPO で年度毎に定める)
 - * 公認アスレティックトレーナー資格更新のための一次救命処置資格保持義務に関する基準に示す BLS 資格をさす。2020 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響による時限的な措置として、日本赤十字社の認定する BLS 資格以外であっても上記基準に準じた BLS 資格であれば受験を可としていたが、2024 年度以降はその措置を恒常的に適用する。

3. 実施方法:

Computer Based Testing(CBT)形式による五肢択一式および五肢択二式

各科目 80 問・各 120 分

- * 会場として認定されているテストセンターに設置されたコンピュータを使用して受験する形式

4. 試験会場:

全国のテストセンター

(<https://cbt-s.com/examinee/testcenter/>)

5. 検定日:

各年 10 月上旬～11 月上旬

- * 受験者本人が、上記期間内のテストセンターの空き状況から受験日時を指定し予約のうえ受験

6. 受験の手続き:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

時期	内容	方法
7～8 月	JSPO から学校に受験案内	メール
8～9 月上旬	受験者名簿・BLS 資格 ・修了証明書等提出	学校で取りまとめのうえメールにて JSPO へ提出
	試験申込・受験料の入金	受験者本人が指導者マイページから申込・ 入金
9～10 月上旬	会場予約	CBTS 受験者マイページから本人が予約

- * 2023 年度まで実施していた理論試験受験願書による申し込みを 2024 年度以降は廃止し、指導者マイページからの申込とする。申込方法は別途通知する。
- * 共通科目を旧カリキュラムで修了する場合、既卒者は共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了証明書及び JSPO-AT 専門科目講習修了証明書(写し)についても併せて提出すること。
- * 共通科目を新カリキュラムで修了する場合、修了証明書(写し)の提出は不要。

【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

時期	内容	方法
7～8 月	JSPO から対象者に受験案内	メール
8～9 月上旬	試験申込・受験料の入金	受験者本人が指導者マイページから申込・ 入金
9～10 月上旬	会場予約	CBTS 受験者マイページから本人が予約

- * 新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例措置により、養成講習会受講時において BLS 資格認定証の提出が完了していない者は、検定試験の申込時に提出すること。

7. 受験料:22,000 円(税込)

(内訳)基礎科目:11,000 円(税込)、応用科目:11,000 円(税込)

- * 初回の受験は、基礎・応用両方受験すること。
- * 2 回目以降、片方のみ受験する場合は、11,000 円
- * 一度入金された受験料は、欠席などのいかなる理由であっても返金しない。

8. 合格基準:

合格判定は科目ごとに行い、基礎・応用いずれも 7 割以上の正答をもって当該科目を合格とし、両科目の合格をもって専門科目を修了とする。

9. 可否通知:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

11 月末ごろに結果を各学校および受験者本人に通知する。

【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

11 月末ごろに受験者本人に通知する。

- * 受験者本人に対しては、CBTS 受験者マイページのトップ画面(ログイン後の画面)に合否を表示する。
- * 不合格の科目については、次回以降の検定実施時期において受験の権利が有効である場合に再受験可能。

10. 受験可能期間:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

2029 年度まで

【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

受講開始年度から 5 年以内

* 2019 年度までに受講を開始した者は新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例措置により、受講開始年度から 6 年以内となる。

11. 留意事項

<受験の手続きについて>

- ・ 会場予約時に受験申込時に登録したメールアドレス宛に「help@cbt-s.com」からメールが送信されるため、迷惑メールとして処理されないように受信設定すること。また、会場予約は、科目ごとに必要となるため、忘れずに両科目とも予約すること。
- ・ 同一日に両科目を予約する場合は、予約時刻が重複しないように注意すること(科目間インターバルを 0 分にすることは不可。1 科目の予約枠の終了時刻から、最短で 15 分後の枠から予約可能)。
- ・ 受験日時は、受験予定日の 3 日前の 23 時 59 分まで変更可能(回数制限なし)。受験予定日の 2 日前からは受験日時の変更不可。
- ・ 各開催回における各手続が期限までに行われなかった場合等には、その時点で該当回の受験を棄権扱いとし、受験を不可とする。(手続期限については、各回の開催案内にて通知する。)
- ・ テストセンターの場所は、会場予約時に確認すること。予約後は、CBTS 受験者マイページや予約完了時に配信されるメールにて確認すること。

<受験当日について>

- ・ 開始時刻の 30 分前から入場可能。開始時刻の 15 分前までに入場すること。
- ・ 試験開始時刻から 30 分までは遅刻を認めるが、試験終了時刻の繰り下げは行わない。30 分を超えて遅れた場合は受験できず、欠席となる。
- ・ 公共交通機関の遅れによる遅刻の場合、遅延証明書を持参すれば、試験開始時刻から 30 分以降も試験を開始することを認めるが、試験終了時刻の繰り下げは行わない。
- ・ 体調不良や受験日時の変更が間に合わなかった等の理由で受験できなかった場合や、自己都合等による受験キャンセルの場合は、欠席扱いとし、不合格とする。
- ・ 体調不良や天候不順による公共交通機関の遅延等も含めた遅刻や欠席に関しては、JSPO や受験サポートセンター、テストセンターへの連絡は不要。
- ・ 同一日に 2 科目を続けて受験する際、1 科目目が制限時間より早く終了しても一時退席が必要となり、再度の入場可能時刻は次試験予約枠の 30 分前からとなる。
- ・ 入場後、本人確認書類を提示し受付手続を実施すること。

1 点で受理可能な証明書(顔写真付): 運転免許証やマイナンバーカード等

2 点で受理可能な証明書(顔写真なし): 健康保険証、社員証、住民票の写し等

※ 具体的な内容は以下サイトにて確認すること。

<https://cbt-s.com/examinee/faq/detail/415.html>

<その他>

- ・ 天候不順、災害等によるテストセンターの閉鎖によって受験できなかった場合は、受験日時の振替対応をする。
- ・ 検定試験に関し不正行為があった場合は、その不正行為に関係のある者について、JSPO 指導者育成委員会アスレティックトレーナー部会において審査し、受験資格の取消し、資格登録権利の停止等の処分を行う場合がある。なお、処分内容については、JSPO 登録者等処分規程等の関連規程に照らし合わせるとともに、受講状況等に応じて検討することとする。

【3】実技試験

1. 出題内容:

テキスト記載の疾患及び競技種目の組合せを中心に、以下項目について出題する。

- ・ スポーツ外傷・障害等に対する救急処置(評価を含む)
- ・ 検査・測定・評価方法
- ・ 対象部位のテーピング
- ・ アスレティックリハビリテーションの初期メニューの立案、説明、デモンストレーション、実技指導
- ・ アスレティックリハビリテーションの後期(現場復帰)メニューの立案、説明、デモンストレーション、実技指導
- ・ 現場での予防方法の立案、説明、デモンストレーション、実技指導

2. 受験資格:

以下の条件をいずれも満たす者。

- ・ 理論試験に合格し「公認アスレティックトレーナー理論試験(又は客観式試験)合格証」の交付を受けた者。
- ・ 受験申込時に JSPO が指定する現場実習(180 時間)を修了している者(【AT コースで専門科目講習を受講した者】のみ)。

3. 出題方法:

以下のカテゴリーに分けて出題する。

カテゴリーⅠ	救急処置、検査・測定と評価
カテゴリーⅡ	アスレティックリハビリテーション
カテゴリーⅢ	テーピング

4. 検定日および試験会場:

前期	9～10 月	東京近郊の指定する会場
後期	2～3 月	東京近郊または大阪近郊の指定する会場

5. 受験の手続き:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

～検定日の 約 3 か月前	JSPO から学校に受験案内	メール
～検定日の 約 2 か月前	受験者名簿 現場実習報告書等の提出	学校で取りまとめのうえ提出
	試験申込・受験料の入金	受験者本人が指導者マイページから支払う

* 2023 年度まで実施していた実技試験受験願書による申込を 2024 年度以降は廃止し、指導者マイページからの申込とする。申込方法は別途通知する。

【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

JSPO 指導者マイページまたは JSPO が定めるフォームより受験申し込みを行う。

6. 受験料:33,000 円(税込)

* JSPO が実施する養成講習会でカリキュラムを修了した者のうち、受験番号の上 3 桁が 210 以下の者は不要となる。

7. 評価方法:

公認スポーツドクター1 名、公認アスレティックトレーナー2 名の計 3 名で構成する検定員が受験者の技能、技術を採点し、総合的に評価する。

8. 評価基準:

JSPO-AT が備えるべき知識、理論及び基本的な実技を基盤として、現場で安全に業務を遂行しうる基本的な実技及び指導を実践できるかを評価する。カテゴリⅠ～Ⅲに共通する評価のポイントは下記の通りとし、公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト(旧カリキュラム対応)の記載内容を判断基準とする。

- (1) 競技者とのコミュニケーションを前提とした JSPO-AT に必要な技術を有しているか。
- (2) JSPO-AT が備えるべき知識・理論を基盤として実施される基本的実技及び指導が安全を確保できる許容範囲であるか。

各カテゴリでの評価のポイントは以下の通り。

カテゴリー	評価のポイント
Ⅰ 救急処置、 検査測定・ 評価	①病態理解のための情報収集力 (病態からみた評価項目の理解と適切な手順[問診・視診・触診]) ②対象部位の機能・理学検査による鑑別評価 (鑑別に必要な ROM・MMT・整形外科的テストの実施) ③情報収集・鑑別評価実施時のリスク管理 (手技の事前説明、痛みの確認、病態を悪化させない配慮) ④スポーツ外傷・障害に対する救急処置 (正しい手順・方法での救急処置[安静肢位・固定肢位・固定方法の選択、RICE 処置]) ⑤評価結果及び救急処置の選手への説明(適切な言葉で選手に病態の説明)
Ⅱ アスレック リハビリテーション	①評価実技能力(アスレックリハビリテーションプログラム処方に必要な機能評価のスキル) ②プログラム作成能力 (傷害特性・競技特性・フィットネスレベルにあわせたプログラム作成) ※プログラムとは複数のエクササイズメニューで構成されているもの ③エクササイズ指導能力(エクササイズの適切な実技指導) ④説明・コミュニケーション能力 (評価、エクササイズ指導及びリスク管理における必要なコミュニケーション) ⑤リスク管理能力 (傷害特性、競技特性、フィットネスレベルを考慮した症状増悪や二次損傷のリスク回避)
Ⅲ テーピング	①外傷・障害の理解とテーピングの種類・手技の選択 ②ポジショニングの適切さ(選手の姿勢の配慮、リスクの配慮、巻く側の姿勢) ③テープを巻く範囲 (アンダーラップ・アンカー・サポートテープの位置、方向、角度) ④適切な張力で効果的なテーピングの実施(たるみ、しわ、食い込み) ⑤手早く綺麗なテーピングの実施 (時間、仕上がりの綺麗さ、全体としてフィットしているか)

9. 合否通知:

実技試験合格者には公認アスレティックトレーナー専門科目検定試験合格証を発行し、検定試験の修了を通知する。

10. 受験可能期間:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

2030 年度までかつ実技試験受験申込年度から 4 年間とし、受験機会は 2 回までとする。

* 前項の 2 回目の試験に合格していない者で再度現場実習(180 時間)を終えた者は、前回の受験有効期限を満了した後に実技試験の受験資格を再度得ることができる。

【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

2030 年度まで。但し、受験機会は 2 回までとする。

最終更新日 2025 年 9 月 16 日